

ZENRAKUREN

MEMBER'S INFORMATION

全酪連会報

総務部だより

夏の電力需給状況について

～2011年の結果と、2012年の取組み～

グループ活動紹介／石川昌子さん

東北酪青婦が放射性物質汚染に係る要請を提出

酪政連活動報告

新入職員入会式



酪農トピックス／

「安心・安全な粗飼料を…利根川河川敷ごみ拾いで消費者交流会」開催!!(東毛酪農より)ほか

人事異動

日本酪農見て歩紀(山口県萩市 水谷信義牧場)



5

2012 May No.560



全国酪農業協同組合連合会

夏の電力需給状況について

～ 2011年の結果と、2012年の取組み～



東日本大震災に伴う東京電力(株)原子力発電所の事故等により、昨年夏には東京電力(株)と東北電力(株)の管内で節電が求められ、電力使用制限令の発動や輪番停電(計画停電)が実施されたことはまだ記憶に新しいところです。

一方、大震災以降、原子力発電所の安全性に対する自治体や国民の不安から全国の原子力発電所は次々と停止しており、今年の夏は全国で電力需給が不安定となる可能性も指摘され始めました。

昨夏を振り返る

昨年の夏(7月～9月)、東京電力(株)と東北電力(株)の管内では、契約電力500kW以上の大口需要家(大規模な工場や商業施設等)に対して電気事業法第27条による電力使用制限令が発動され、使用電力の最大値(kW)を前年夏(同月)の同最大値の▲15%以下とすることを義務づけられました。また、契約電力500kWに満たない小口需要家(小規模な工場、商業施設等)や一般家庭に対しては、使用電力を前年同月の▲15%以下とすることが努力目標として要請されました。

一方、他の地域では、電力使用制限令が発動されなかったものの、関西電力(株)管内では▲10%以上の節電

表1 2011年・夏の節電結果

1. 大口需要家(契約電力500kW以上の事業者)

最大ピーク需要(kW) (平日9～20時のピーク)	東京電力管内 (約14,800事業所)	東北電力管内 (約3,700事業所)	関西電力管内	九州電力管内
数値目標	▲15%	▲15%	▲10%以上	数値目標なし
最大値の対昨年比	▲29%	▲18%	▲9%	▲6%
気温が同水準の日 同士の比較	▲27%《目標以上》	▲18%《目標以上》	▲9%《目標程度》	▲2%

2. 小口需要家(契約電力500kW未満の事業者)

最大ピーク需要(kW)	東京電力管内	東北電力管内	関西電力管内	九州電力管内
数値目標	▲15%	▲15%	▲10%以上	数値目標なし
最大値の対昨年比	▲19%	▲20%	▲10%	▲13%
気温が同水準の日 同士の比較	▲19%《目標以上》	▲17%《目標以上》	▲10%《目標程度》	▲7%

3. 家庭

最大ピーク需要(kW)	東京電力管内	東北電力管内	関西電力管内	九州電力管内
数値目標	▲15%	▲15%	▲10%以上	数値目標なし
最大値の対昨年比	▲6%	▲22%	▲14%	▲14%
気温が同水準の日 同士の比較	▲11%《目標以下》	▲18%《目標以上》	▲4%《目標以下》	▲7%
販売電力量(8月の kWh)の対昨年比	▲17%	▲17%	▲17%	▲9%
平均気温(8月)の 対昨年比	▲2.1℃	▲2.6℃	▲1.9℃	▲1.7℃

出典：今夏の電力需給対策のフォローアップ について

(経済産業省 平成23年10月14日開催 電力需給に関する検討会合幹事会資料)

要請があり、その他の電力会社管内においても数値目標のない節電が要請されました。

表1のとおり、東京電力(株)と東北電力(株)の管内の大口需要家や小口需要家等は▲15%を上回る結果となりました。一方、東京電力(株)管内の一般

家庭では、使用電力の最大値(kW)削減の努力目標を下回りました。

他の地域では、関西電力(株)管内の大口需要家・小口需要家は目標程度の節電を実施したものの、それ以外では目標とした節電は実施できませんでした。

今夏の状況

現在、全国では、原子力発電所の停止により不足している電力を、休止していた火力発電所を再稼働させる等により補っていますが、一昨年のような猛暑となれば、地域により電力需給は不安定となる恐れが想定されます。なかでも関西電力(株)管内は、再稼働の是非が議論されている福井県の大飯原子力発電所が稼働したとしても電力需給は逼迫し、「昨年の東京電力(株)管内で予想された電力不足を上回る。」といったニュースがテレビや新聞等で報道されています。

昨夏に発動された電気事業法第27条による電力使用制限令は、企業の経済活動に多大な影響をもたらしましたが、需要抑制には大きな効果がありました。

現在は、電力会社によっては工場等の大口需要家を対象に、夏場の需要ピーク期間中、休日や夜間に操業を振り替える等の節電に応じて電気料金の割引を実施し、平日昼間の需要のピークを抑える取組みが行われています。

政府は、今年初め頃に、今夏においては電力使用制限令の発動や計画停電は避け、各企業・各家庭における節電によって乗り切る方針を出しています。

しかし、一方では、政府内部から関西電力(株)管内における計画節電の可能性についての言及や、4月上旬には藤村官房長官が「4月の終わりに、最新の(電力)需給ギャップ等を整理して報告したい。」と記者会見で述べる等、関西電力(株)だけでなく、全国的に今夏の電力需給が予断できない状況にあることもうかがわれています。

家庭や事務所で節電術

夏の14時頃、一般家庭では平均1,200Wの電力を消費していると試算されており、そのうちエアコンが約半分を占めています。事務所における試算においても、夏の昼間に多く電力を消費するのはエアコンであり、夏の節電はいかにエアコンの消費電力を抑えるかが鍵となります。また、冷蔵庫、温水洗浄便座、テレビやパソコンの待機電力等も積極的に減らしましょう。

家庭では、1,000Wを上回り消費電力の大きな電気製品(電気ポット、食器洗い乾燥機、オーブントースター、掃除機、ドライヤー、浴室乾燥機、ジャー炊飯器、電子レンジ、アイロン、IHクッキングヒーター等)も多く、使用する際には、短時間での効率的な使用や、他の電気製品の電源を切る等の工夫をしましょう。

エアコン

※冷房の控えすぎによる熱中症に注意してください。

- 設定温度は28℃にして、扇風機を併用。
- 外出時には早めにOFF。
- 室外機の周りに物を置かない。
- 月に2回、フィルターの掃除。
- レースのカーテンやすだれで遮熱。

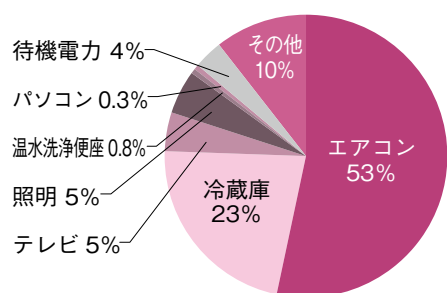
テレビ

- つけっぱなしにしない。
- 見ないときは主電源もOFF。
- 画面は週1回掃除し、明るさも調整。

冷蔵庫

- ものを詰め込みすぎない。8割までが目安。
- 開閉時間は短く。
- 設定温度は適切に。

夏の日中(14時頃)の消費電力(全世帯平均)



出典：資源エネルギー庁推計 数値は最大需要発生日を想定

クーリビズは、今年も5月スタート!

昨年、例年より1ヶ月早く始まったクーリビズは、今年も5月にスタートすることになり、終了も例年より1ヶ月長い10月末までとされています。

クーリビズは、室内の冷房温度を28℃程度に設定しても快適に過ごせるよう、軽装スタイルになることで、冷房使用による二酸化炭素の排出を抑え、地球温暖化の防止することを目的とした、環境省が提唱している取組みです。

「クーリビズ」はノーネクタイ、ノージャケットでしたが、昨年はポロシャツ、アロハシャツ、Tシャツ、ジーンズも着用可とした「スーパークーリビズ」も登場しました。

今後、今夏の電力需給見通しが政府から発表される見込みですが、節電要請の有無にかかわらず、消費電力の低い冷房器具の使用や、電気製品の効率的な使用、こまめなスイッチのON/OFF等で一人一人が無駄な電力使用を抑えつつ、少しでも快適に過ごせるように工夫しましょう。



地元食材と牛乳を

活用した食育活動

今月号では、日光市農村生活研究グループ協議会の前会長であり、現在も地元地域で食育活動に積極的に取り組まれている、石川正美牧場の石川昌子さんにお話を伺いました。

日光市は、「日光を見ずして結構と言うこと莫れ」という言葉もあるように、日本中に観光地・景勝地として知られています。海外でも景勝地として知られている日光東照宮や中禅寺湖、日光湯元温泉、藤原等多くの有名観光スポットがあります。今回取材に伺った、石川正美牧場がある明神は、日光市の中心に位置し、杉並木の綺麗な場所です。

石川正美牧場について

所属組合は栃木県酪農業協同組合で、現在、搾乳牛25頭、乾乳牛4頭、育成牛15頭飼養しており、自給飼料にデントコーンを作り、給与しています。家族構成は、父と、夫（正美さん）、私（昌子さん）の3人で、エサやり等が私の主な仕事です。夫は、栃木県酪農業協同組合の組合長を務めています。

所属グループの概要

私が所属する、日光市農村生活研究グ

ループ協議会は、現在54名（県協議会人数の約4分の1）の女性で構成されており、メンバーの99%が農業従事者です。以前は「生活改善クラブ」という名前でしたが、『婦人』が『女性』と呼ばれるようになった頃、現在の名前に変更されました。昨年、50周年を向かえ、県の農業・農村男女共同参画ビジョンに基づ

協議会では、地域の食材を用いて食育に取り組んでおり、近くの公民館やホールをお借りして、お子さんがいる奥さんに、日光市で出来た牛乳や野菜等を使って出来る料理を教えています。メンバーのほとんどが農家の奥さんということもあり、農繁期を避けているため、不定期で、年に数回、そのような活動に取り組んでいます。私は酪農家なので、牛乳を使った料理で

現在行っている活動

き、安心・安全な農産物の生産、農村地域社会づくりの推進、女性の地位向上を目的とし、活動を行っています。



石川昌子さん

誰でも簡単に作れるようなメニューを考え、レシピをイラストで描いたり、集まりの場で料理を作ったりしています。レシピは手書きで書いていますので、丸一日かかったりすることもあり、大変ですが、みんなと一緒に出来たため、楽しくやっています。

ただ悩みもあって、対象としている奥さんたちが忙しいということもあり、なかなかメンバーが集まらないこともあります。集まる時期や場所等を考え直し、参加しやすい環境を作っていくことが今後の課題になっていくと思っています。

そして、こういった活動をしていく中で「この間教えてもらった料理作ってみました」「おいしかったよ」といってもらせることが一番うれしく感じています。

また、毎年秋に開催される「日光そばまつり」では、アイスクリーム作り等も行っています。



◀ 手作りピザ

現在の活動に至るまで

私は宇都宮市内の一般家庭で酪農や農業に全く関係の無い家庭で育ちました。また、学校を出た後も宇都宮市内の資材メーカーで働いていて、営業として外回



昌子さんと栃酪担当茂木氏

りをしていた時期もありました。働き始めた当初はまさか酪農家の嫁として嫁ぐことになるとは思っていませんでした。資材メーカーに就職する前は就職活動で栃酪（栃木県酪農業協同組合）のドアを叩いたこともあったんですよ。

現在の活動につながっているのは、その後、酪農家に嫁に行ったことも大きいですが、小さいころからおばあちゃんっ子で台所に立つことや家の手伝いをするのが好きで、学生時代も寮生活の食事があまり良いものと感じる事が出来なかったため、一人暮らしで自炊していました。その部分が今の活動につながっているかも知れません。

将来の夢

家の近くでログハウスみたいなものを作り、牛乳で出来た料理等を出せる店を

開くのが現在の夢です。大きくなくても良いので、将来そういう事が出来たらいいなと思っています。

ムラサキイモのムース

材料（カップ10個分）

〈ムースとして〉

- ・牛乳 600cc
- ・砂糖 80g
- ・生クリーム 150cc
- ・ムラサキイモ 120g
- ・ゼラチン 20g

〈クリームとして〉

- ・生クリーム 50cc
- ・ヨーグルト 100cc
- ・砂糖 小さじ2杯



作り方

1. ムラサキイモの皮をむいてレンジで竹串が簡単に刺さるくらいまで熱を通し、裏ごしします。
2. ゼラチンをぬるま湯でふやかす。
3. イモをミキサーで牛乳300ccと混ぜる。
4. 鍋に残りの300ccを入れて、砂糖とゼラチンを加えて煮立たないように完全に溶かす。
5. ③と④をミキサーに入れさらに混ぜる。
6. ⑤で出来たものの粗熱を取り、生クリームを加え、型に流し込み完全に冷めたら冷蔵庫で冷やし固める。
7. 生クリームをボールに入れて砂糖を加え軽くホイップした後にヨーグルトを加えさらにホイップする。冷えたムースの上に乗せれば完成。

札幌
支所発

第40回酪農経営発表大会開催！

— 北海道酪農青年女性会議 —

3月29日(木)、札幌市「京王プラザホテル札幌」にて北海道酪農青年女性会議主催、第40回北海道酪農経営発表大会が開催され、全道より関係者合わせて64名が参加しました。

今回は経営部門に洞爺湖町の塩野谷孝二氏



▲ 挨拶する前田前委員長

「次世代放牧への挑戦～高泌牛を健康に飼う～」、意見・体験部門に千歳市の中村由美子氏「女もする酪農経営～仲間と学び 情報共有で家族力UP～」がそれぞれ発表しました。

経営部門の塩野谷氏は、「広い牧草地があるのに牛が狭い牛舎にいるのはおかしい」という奥様の考えから、放牧に取り組み始めた牧場経営を発表しました。丁寧な牛群管理と高品質な飼養管理に基づいた良好な実績や、酪農教育ファーム活動等を力強く語りました。



▲ 発表中の塩野谷氏



▲ 発表中の中村氏



▲ 授賞式

意見・体験部門の中村氏は、生まれ育った千歳市での半生を発表しました。酪農家の長女として生まれ、多額の負債や夫の病といった苦難に遭いながら、前向きに問題に取り組み、乗り越えていった経験を、ユーモアを交えて明るく語りました。

審査の結果、北海道代表には、経営部門では「放牧を主体とし、粗飼料の質、個体観察を徹底した飼料設計で、濃厚飼料の給与制限をしつつも乳量を落とさないのは努力の賜物。近年の飼料価格の高騰の中、自給飼料を見直すうえで今後の酪農モデルになりうるものだ」との評価から塩野谷氏が推薦されました。また、意見・体験部門では「ご主人の病気、多額の負債といった苦労をされた中でも、経営を引き継ぎ女性らしいきめ細やかさで経営を見直し、立派に経営されている」との評価から中村氏が推薦されました。

塩野谷氏と中村氏は7月に神戸にて開催される、第41回全国酪農発表大会に出場されます。

(T.K)



▲ 意見交換会(左:中村氏 右:塩野谷氏)

東毛酪農より

「安心・安全な粗飼料を…利根川河川敷ごみ拾いで消費者交流会」開催!!

3月25日(日)、東毛酪農業協同組合(大久保克美代表理事組合長)主催により、酪農家及び一般消費者が群馬県明和町の利根川河川敷のごみ拾いを行いました。

従来から、自生するチガヤ等の野草を飼料に活用していましたが、野草の育成を妨げるからし菜が繁殖したため、国が除草剤の散布を計画しました。しかし除草剤の散布により安心・安全が損なわれると、組合と消費者がからし菜の駆除を請け負う事で国による散布をくい止め、以降、毎年3月の最終日曜日からし菜取りとごみ拾いを行っていました。

今年は、事前に検査をして安全な事を確認しているものの、幼い子を持つ消費者の方々もいることから、放射能の影響を鑑み、ごみ拾いに変更して開催しました。

また、昨年は震災の影響により中止となったため、消費者と交流を持つのは2年ぶりとなりました。

今年は天候にも恵まれ、群馬県内のみならず、首都圏から約200名が集まり、2時間ほどの作業で河川敷もすっかり綺麗になりました。バーベキューや生産者からの差し入れ等の食事をしながら、普段接する事が少ない生産者と消費者の交流を行い、有意義な時間を持つことが出来ました。

食後には搾乳体験や子牛の哺乳体験等のイベントもあり、参加した方々はそれぞれに楽しみながら1



▲ 一生懸命ゴミ拾い

日を過ごしました。

消費者の方から、「昨年の震災から放射能污染の無い安全で安心な牛乳や乳製品を生産するため、これまで以上に生産者の方々は苦勞していることと思います。それに加えてTPP問題等、酪農業界はこれまでにない苦境にたたされている現状の中、私たちは、国産の牛乳や乳製品を購入することで協力していきたいと思います。そして、おいしい牛乳を提供して貰うために、河川敷の作業はとても大事な事であると思います。また来年から従来通り毎年開催してくれる事を願っています」と励ましの言葉を頂き、元気をもらえた日となりました。

(F.K)



▲ 食事の前にコーヒーで一休み



乳搾りに
夢中…

消費者から生産者へ搾乳用タオルのプレゼント ▶

仙台
支所発

第41回酪農発表大会開催される！

— 東北酪農青年婦人会議 —

3月21日(水)～22日(木)の2日間、東北酪農青年婦人会議(佐々木総隆委員長)主催による「第41回酪農発表大会」が秋田県鹿角市十和田大湯の「ホテル鹿角」で96名の酪友が参加して盛大に開催されました。

大会は半澤善幸副委員長の開会宣言の後、参加者全員で統一綱領を唱和し幕を開きました。

佐々木委員長の主催者挨拶に続いて、来賓の農林水産省東北農政局生産部長・丸山恵史氏、あきた北部酪農農業協同組合・代表理事組合長近藤孝一氏からご挨拶を頂きました。

経営発表の部は鈴木正隆さん(福島県酪農青年研究連盟)、菅原啓緒さん(宮酪青年婦人連絡協議会)の2名が発表しました。審査講評(審査委員長:東北農政局 伊藤雅敏畜産課長)では、両経営ともに大変優れており、自給飼料基盤の確保、経営の安定性、地域への貢献等について、どう評価するのかで議論になり時間を要しましたが、今回は近隣の有休農地を借りるなど飼料基盤に立脚し、安定性を確保し、高い所得を保つ経営をベースに、地域活動に自ら先頭に立ち、独身後継者の支援、一般消費者への呼びかけ、地域住民や子供たちへの酪農と牛乳への理解醸成と消費拡大にも積極的に取り組まれていることから、鈴木牧場は、将来の規模拡大等を計画しており、将来性があることを評価し、『地域と共に生きる酪農』と題して発表した鈴木さんに農林水産



発表者の皆さん



▲ 意見・体験部門最優秀の小笠原さん



▲ 経営部門最優秀の鈴木さん

省東北農政局長賞が授与されました。

また、意見・体験の部では、久保淳さん(新岩手農協奥中山酪農生産部会)、金子隼一さん(福島県酪農青年研究連盟)、村上智子さん(みやぎの酪農青年部・婦人部)、小笠原幸子さん(岩手中央酪農青年婦人会議)の4名が発表しました。審査の結果(各会議からの審査員)、発表者の中には、海外酪農経験や六次産業化への取り組み等色々な発表がありましたが、『愛ターン酪農』と題して家族のありがたさや、酪農から得る喜び、地域との交流を話された小笠原幸子さんが最優秀賞を受賞されました。

懇親会では、あきた北部酪農協の提供による『美味しい清酒』を巡るじゃんけん大会で、会場の笑いを誘い、和やかな内に大会を終了することが出来ました。

(N.T)



▲ 近藤組合長による祝辞



▲ 伊藤審査委員長

仙台
支所発

酪農チビっ子勉強村開催される — 東北酪農青年婦人会議 —

3月26日(月)～29日(木)の4日間、東北酪農青年婦人会議(佐々木総隆委員長)主催の「酪農チビっ子勉強村」が開催されました。

この催しは、東北酪農青年婦人会議と渋谷区少年団体連盟(鈴木貴代子会長)

との交流事業のひとつとして、東北の酪農家の子供達に東京・渋谷区の地元子供会(渋谷区少年団体連盟)の家庭へ宿泊し、交流を深めるとともに、日本の政治経済の中心地である大都市・東京での生活を体験することにより見聞を広め、都市と農村の役割を知り、相互理解を深めることを目的として、毎年開催されてきました。

昨年は東日本大震災の影響で中止となりましたが、29回目となった今回は、昨年参加希望の方を含め、岩手県より2名、宮城県より2名、福島県より1名の小学3年から小学6年(参加時当時)までの計5名が参加しました。渋谷区役所に到着した直ぐには、緊張の色が隠せなかったものの、直ぐ隣のNHKを見学してきた後の対面式では、いつもの明るい笑顔に戻っていました。その後、受け入れ家庭



▲ 鈴木会長

毛利さん親子
と隆宏さんと
智也くん



◀ 前田さん兄妹
とゆきさんと
円佛さん親子



▲ 対面式後に

に分かれて過ごした2日目も、上野動物園でパンダを見たり、職場体験をしたりと、渋谷区で設定していただいたプログラムも順調に終了し、「こどもの城」(3泊目)に集ったときには、開花し始めた都

会の桜に負けないような満面の笑顔でした。

短い期間ではありましたが、都会の生活、そして都会の子供達との交流は、5名にとって楽しい思い出となり、「来年もまた来ようね」という会話を耳にし、事務局としては、今年も無事に終わったという思いと共に、これもひとえに、渋谷区の役員他皆様のやさしい心遣いと長い交流の賜物と感謝致しております。

(N.T)



▲ いっぱいのおみやげとともに「こどもの城にて」

仙台
支所発

酪農婦人研修会が開催される！ — 宮城県酪農協会 —

3月14日(水)、宮城県酪農協会（濱田茂会長：みやぎの酪農農業協同組合、代表理事組合長）が主催する「平成23年度酪農婦人研修会」が宮城郡松島町「ホテル松島大観荘」において開催されました。

この酪農婦人研修会は、宮城県内の同協会会員組合の婦人及び酪農乳業関係機関の女性職員を対象としています。そして、酪農に関する情報のみならず様々な分野の情報を習得することにより見聞を広め、社会的・文化的な生活の向上を目指していただくことを目的とし毎年開催されているものです。

当日は宮城県内から総勢93名が参加し、濱田会長の挨拶、社団法人全国酪農協会・今関輝章常務理事による来賓祝辞、そして講演会へと入りました。

「ブータン王国から見た日本の将来」と題し、弊社購買部酪農生産指導室三輪達雄による講演がありました。

講演中の
三輪氏



講演の中で、グローバル化する世界の中で敢えて“GNH”という指標を掲げるブータン王国から日本人が忘れてしまった東洋的心(吾唯足知)を教わりました。また、「おばあちゃんの遺伝子」の話に思わずにんまりとする人達も多く、和やかな雰囲気での講演会でした。

講演終了後は懇親会となり、同協会の半澤善輝副会長（宮城県酪農農業協同組合、代表理事組合長）の挨拶で始まり、同協会の佐瀬修副会長（雪印メグミルク(株)東北総括支店長）の音頭で盛大に乾杯しました。そして、参加者全員が美味しい料理と久しぶりに会う酪友との会話に日頃の疲れを癒していました。（T.H）



早急な対応を求める佐々木委員長

3月28日(水)、東北酪農青年婦人会議（佐々木総隆委員長）は、3月22日(木)に開催された同会議の通常総会で承認された、放射性物質汚

東北酪青婦が 放射性物質汚染に 係る要請を提出

染に係る要請を、全国酪農青年女性会議（大井幸男委員長・代理出席 近藤祥史指導・企画部長）とともに、農林水産省生産部長荒川隆氏に提出しました。

佐々木委員長は、4月から放射性物質の暫定許容値が引き下げられることに伴い、圃場に放置されている牧草や堆肥問題に触れ、早急な改善措置を酪農民に指示し、実施するよう要請しました。

これを受けて、同省の本田光広生乳班長は、現状を説明し、理解を求めました。その後、草地整備推進室平川正一主任による牧草地の除染対策の推進状況の説明がありました。



要請文を渡す佐々木委員長(右)、左は本田班長

東京
支所発

小松正平さん(経営部門)と 石川文子さん(意見・体験部門)が全国大会へ！

— 第41回 関東甲信越酪農青年女性会議酪農発表大会 —

昨年の東日本大震災の直後に開催が予定されていたため、やむなく1年延期となっていた「第41回関東甲信越酪農青年女性会議酪農発表大会」が、去る3月22日(木)・23日(金)に「岡岡温泉 華鳳」(新潟県新発田市)にて各県から約160人の参加を得て盛大に開催されました。

大会は、主催者の関東甲信越酪農青年女性会議・野村栄一委員長の開会挨拶に続き、来賓の農林水産省北陸農政局生産部・岡野博畜産課長、新潟県農林水産部・石田司畜産課長、公益社団法人 新潟県畜産協会・鶴巻藤太郎専務理事、地元の新潟県酪農業協同組合連合会・小玉昭古代表理事会長にご挨拶を頂きました。

今回の発表者は経営発表の部が町井寛さん(栃木県)、小松正平さん(長野県)の2人、そして意見・体験発表の部は石川文子さん(栃木県)、細野孝之さん(群馬県)の2人、合計4人となりました。発表者の皆さんは、これまでの経営成果と経営の特徴、独自の取り組み・体験等について、更には昨年の東日本大震災の経験等を交え、緊張感を漂わせながらも酪農に対する熱い思いを込めて発表されました。

経営発表の部では審査委員長の北陸農政局岡野畜産課長より「発表された2名は、それぞれに素晴らしい将来目標・夢を持ち、地域を代表する優れた経営であり、優劣つけがたい内容であった。粗飼料自給率、年間費用、乳飼比、授精回数等の経営指標に優れた成績を収めていること。周辺農家の高齢化という地域の事情から農地を拡大し、地域雇用を拡大することにより労働力を賄う方針を持っており、今後の農業経営の模範となる可能性があること。地元



▲ 野村委員長開会挨拶



▲ 岡野審査委員長による
審査講評

の子供たちや都会の方々に農業体験を通じて『命の大切さ』を伝えようとする積極的な地域活動を行っていることを評価し、僅差で選出した」と審査講評があり、長野県の小松正平さん「循環型の酪農経営を目指して～複合型経営の酪農家として出来ること～」が最優秀者に選出されました。

また、意見・体験発表の部では審査員を務めた関東甲信酪青女委員を代表して野村委員長より、「発表された両名とも『酪農が・牛が好きだ!』という思いが共通しており素晴らしい発表であった。結婚前から地域の酪農に携わる女性サークルを立ち上げ現在も酪農に関する勉強会等を続けており、今後は消費者に酪農を身近に感じてもらう活動を展開したいと熱く地域での活動を語った、夢を追いかける情熱を評価した」と講評があり、栃木県の石川さん「憧れの“うしやさん”になりました!」が全国大会に推薦されました。

小松さん、石川さんは、7月12日(木)・13日(金)に神戸市で行われる「第41回全国酪農青年女性酪農発表大会」に関東甲信越酪農青年女性会議代表として参加することになり、大会参加者から大きな祝福と声援を受けました。(N.H)

全国大会出場者 ▶
左:小松さん
右:石川さん



▲ 発表者の皆さん



福岡
支所発

熱戦!!

「第10回オール九州ブラックアンドホワイトショウ」 「第35回熊本県ブラックアンドホワイトショウ」

去る3月17日(土)、熊本県家畜市場（熊本県菊池郡）において「第10回オール九州ブラックアンドホワイトショウ」並びに「第35回熊本県ブラックアンドホワイトショウ」が盛大に開催されました。

このショウは、九州ホルスタイン改良協議会が主催、熊本県乳牛改良同志会が共催し、九州各県の改良同志会・協議会が後援する形で、ホルスタイン種（系）牛の体型資質の改良向上を目指し、生産効率の高い牛群を増殖するとともに酪農経営の堅実な発展を期し、同志間の連帯親睦を深めることを目的に、この時期に開催されています。

この日は、九州ホルスタイン改良協議会・中村隆馬副会長の開会の言葉に始まり、主催者を代表して九州ホルスタイン改良協議会・松島 喜一会長よりご挨拶を頂きました。



▲九州ホルスタイン改良協議会
松島会長による主催者挨拶



▲熊本県酪連 吉田会長による来賓挨拶



◀集合写真

来賓には、熊本県農林水産部畜産課 濱清輝審議員と熊本県酪農業協同組合連合会・吉田壽孝 代表理事会長をお招きし、来賓紹介の際にご挨拶を賜りました。

今回の審査員は「シーメックス アライアンス社」のマイク・ウェスト氏に



▲マイク・ウェスト氏

お願いし、通訳は株式会社 野沢組 山岸 黄太次長が務め、総頭数123頭（15部門）の審査にあたって頂きました。

審査講評では九州のレベルの高さを評価頂き、オール九州ブラックアンドホワイトショウの審査をさせてもらった事に敬意を表されていました。

当日は雨の降る寒い一日でしたが、各部門の名誉賞、最高位決定時は寒さも吹き飛ばすような熱気に溢れていました。（K.T）

審査結果、入賞牛は次の通りとなりました。

◎経産グランド・チャンピオン

ニシダファーム カイト パーク
出品者：西田 保弘さん（長崎県）

○経産リザーブ・チャンピオン

ヒルアイランドHL ダン アツシヤー
出品者：岡嶋 健一郎さん（大分県）

◎未經産グランド・チャンピオン

トミーフィールド ティアラ
出品者：(有)トミーフィールド（熊本県）

○未經産リザーブ・チャンピオン

KANO クーペラス オフ セレブ
出品者：鹿屋農業高校（鹿児島県）

各県対抗

主席 福岡県
2席 大分県
3席 鹿児島県



No.228
水谷信義牧場
山口県萩市

▲ 右から ご主人の信義さん、奥さんの香葉さん、次女の咲希ちゃん、
義兄の丸尾一郎さん、姉の丸尾寿美子さん、愛犬ジョリー

経営主になって10年 — 経営を再チェックする年に —

地域の概況



水谷牧場事務所

萩市は山口県の中央北部に位置し、日本海に面した海岸線は北長門海岸国定公園の一部となっています。1604年、毛利輝元が開府した萩には、萩城跡や武家屋敷等歴史的景観が数多く残っており、松下村塾を主宰した吉田松陰の門下からは、幕末・維新の志士高杉晋作や木戸孝允等を輩出していることでも有名で、維新のふるさと「萩」とも呼ばれています。今回ご紹介します水谷信義牧場は、萩市の西部で長門市や美祢市との境界に近い、山田地区に在ります。水谷牧場は山口県酪農農業協同組合（原田康典代表理事組合長・下関市）に所属されています。山口県全体の平成24年3月末の出荷戸

経営の概況

数は67戸、23年度受託乳量は18,442tとなっています。



水谷牧場は、経産牛150頭、育成牛35頭を飼養する山口県トップの酪農家で、この他に育成牛の県内預託が30頭、北海道預託が5頭となっています。平成23年度の出荷乳量は、約1,400tでした。労働力は、信義さん（37歳）香葉さん（36歳）ご夫妻、信義さんのお姉さんご夫妻、従業員1名、アルバイト1名、そして信義さんのご両親も分働等の時、お手伝いされているとのこと。補助事業を利用して10年前に移転入植され、牛舎は4群分けのフリーバーン、搾乳待機場とパラレル10頭ダブルのバーラー、8,000キロバルクの牛乳処理室、別棟の育成牛舎、堆肥発酵乾燥施設2棟を有しておられます。農地は4haくらいあるのですが、

山間部で自給飼料は作付けしていないとのことです。堆肥は、主に水稻農家に販売する他、戻し堆肥としても利用しているそうです。

水谷牧場の歴史

信義さんのお父さんが50年以上前に日置町（現在の長門市日置町）に開拓で入植され、山を切り開いて農地を造成し、乳牛を飼いはじめたことです。信義さんが高校に入ることには、繋ぎの牛舎で37、38頭は飼養していたとのこと。信義さんは酪農を継ぐつもりでいたそうですが、お父さんから「酪農のことはいくらでも教えてやるから別の勉強をして来い」と言われ、関西の大学の神学部でキリスト教の勉強をしたそ



▶ 育成牛舎



搾乳待機場

うで、ちなみに牧師の免許を持っているそうです。兵庫県伊丹市出身の奥さんと知り合ったのも大学時代ということでした。大学卒業後、岡山県笠岡市の竹信牧場で1年間実習をし、就農されました。

就農後1年で結婚をし、日置町の古くなった40頭牛舎では厳しいだろうと、ほぼ同時にこの萩市への移転を進めて、規模拡大と経営移譲を行い、10年が経過したところです。

経営再チェック

昨年は、予期せぬ乳房炎が出て乳量が伸びず、1,400t程度の出荷乳量でした。補助事業での規模拡大とはいえ借入金償還がある中で、飼料代も上昇しており、

厳しい年であったということでした。「まだまだ自分に足りないものがあるのではないか？」と自問され、今年は、経営を再チェックする年にしたそうです。既に奥さんが「ソリマチ」を利用して記帳されており、税理士さんに経営をみてもらっているそうですが、トータルの経営の把握や、先々のシミュレーションのために、全酪連のDMSシステム（酪農家経営管理支援システム）を利用するつもりで、この5月に説明を聞くとのこと。酪農仲間には下関市豊北町に多いとのことですが、搾乳後の勉強会には萩からは遠くて参加できず、電話等で情報交換したり、教えてもらったりにしているそうです。また、従業員を雇用しているので、ローテーションで10日に1日くらいは休めるため、休日を利用して積極的に出かけて、技術面でも勉強したいとも語っておられました。経営主として、経営を安定させるという意志が、ひしひしと伝わってきました。



フリーバーン牛舎



片側10頭パラレルパーラー

6次産業化の夢

奥さんは、昨年開催された、きらら浜（山口市阿知須）の物産展で、やまぐち県乳業の牛乳を使用したソフトクリームを、酪農仲間の奥さんと販売してみたところ、びっくりするくらい売れましたと、かなりの手応えをつかんでおられました。ただ、ソフトクリームの機械が高いでね、とも言っておられました。

ご主人は、「我々が生産した山口県産牛乳の味には、かなり自信がある。まず、自分の酪農経営を安定させることが最優先ですが、将来は6次産業化にも取り組みたい」と語っておられました。

水谷さんご夫妻には、小学2年生と幼稚園の2人の娘さんがおられます。そして今、観光の中心地「萩城跡（指月公園）」の近くに住んで、約30分の通勤をされているそうです。（ご両親は牧場にお泊りとのこととです。）観光の中心地で、水谷牧場の牛乳を使用したソフトクリームやチーズ、スイーツのショップを経営し、奥さんや娘さんが働いておら

れるところを想像すると、夢が広がります。

最後に

水谷さんご夫妻には、大変お忙しい中、快く取材にご協力をいただき厚くお礼申し上げます。一斉に駆け寄ってくる人なつっこい子牛や、ワンちゃん・ネコちゃんに触れる時、なぜか癒される気持ちになりました。ご家族の優しさ・明るさが伝わっているものと思います。酪農経営の厳しさを乗り越えて、ますますご発展されることを心からお祈り申し上げます。

（I・Y）

◀ TMR用配合飼料タンク



トラクターとTMRミキサー ▶



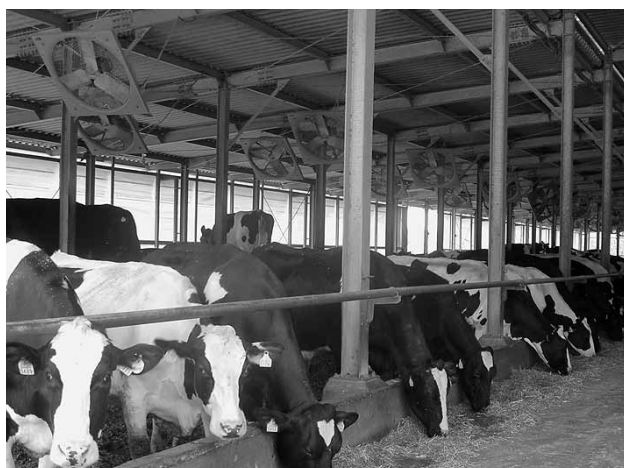
▶ バルククーラー



◀ 堆肥発酵乾燥施設



敷料用オガ粉 ▶



搾乳牛群



乾乳牛群

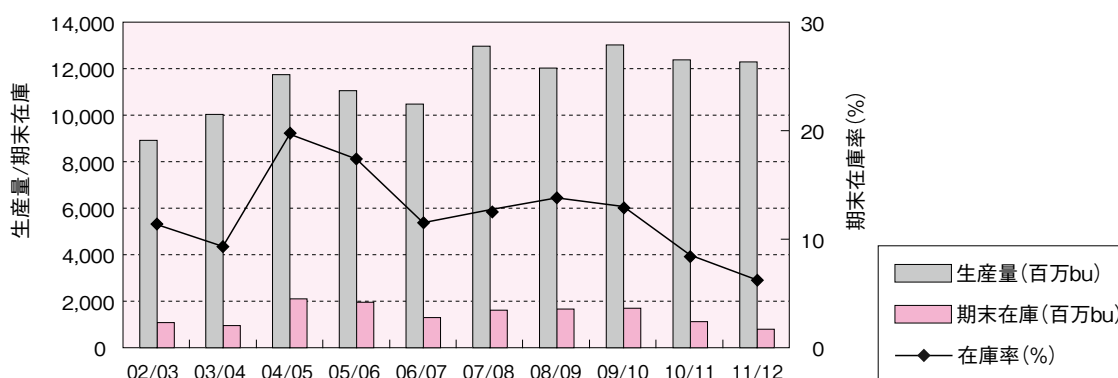


原料情勢

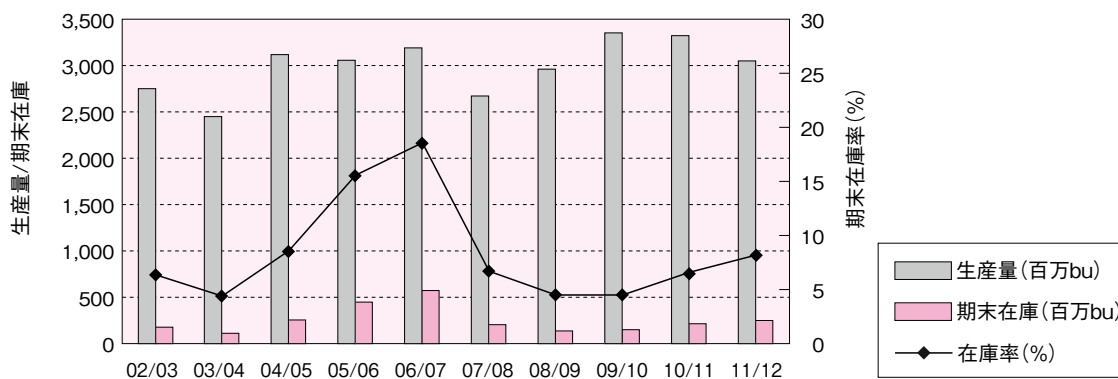
平成24年4月

4月10日発表 米農務省トウモロコシ 需給予想	【10/11年産】 作付面積88.2百万(前月88.2百万) エーカー、単収152.8 (152.8) bu/エーカー、生産量124億4,700万 (124億4,700万) bu、総需要量130億5,500万 (130億5,500万) bu、期末在庫11億2,800万 (11億2,800万) bu、在庫率8.6 (6.3) %。 【11/12年産】 作付面積91.9百万(前月91.9百万) エーカー、単収147.2 (147.2) bu/エーカー、生産量123億5,800 (123億5,800) bu、総需要量126億7,050万 (126億7,050万) bu、期末在庫8億100万 (8億100万) bu、在庫率6.3 (6.3) %。
トウモロコシ相場動向	今後のシカゴ相場は、端境期に向け11/12年産に関しては需給が逼迫した状況が続いているが、新穀(12/13年産)の作付進捗が例年以上に順調に推移していること、また天候に関しては発芽に必要な土壌水分の不足が懸念されていた産地への降雨があったこと、夏場に向けて平年並みの天候予想から、横ばいまたは軟調な推移が期待される。
国内産大豆粕	国内需給については、国産大豆粕発生量は右肩下がりだったが、ここに来て下げ止まっている様子。国産大豆粕の減少分は輸入大豆粕が補っており、現時点では受け渡しには問題ない見込。価格については、一方的に値を上げている。また、最近では輸入大豆粕の需要がますます高まっており、現地価格は大幅に上昇している。
槽糠類	一般ふすまは、配合割合はやや減少する見込。小麦の挽砕量は相変わらず低調な様子。しばらくは受け渡しには問題ない見込。グルテンフィードは、配合割合は横這いで推移していると思われるが、今後は増加する見込。発生量は徐々に増加しているようだが、例年に比べると少ない様子。また、港によっては在庫がタイトになっている模様。
海上運賃	海上運賃は、バンカー・チャージ(燃料代) も上昇しているが、新造船竣工による船腹の増加により需給は緩和しており、海上運賃は横ばいで推移するものと思われる。

米国産トウモロコシ生産量と期末在庫の推移



米国産大豆生産量と期末在庫の推移



輸入粗飼料の情勢

平成24年4月

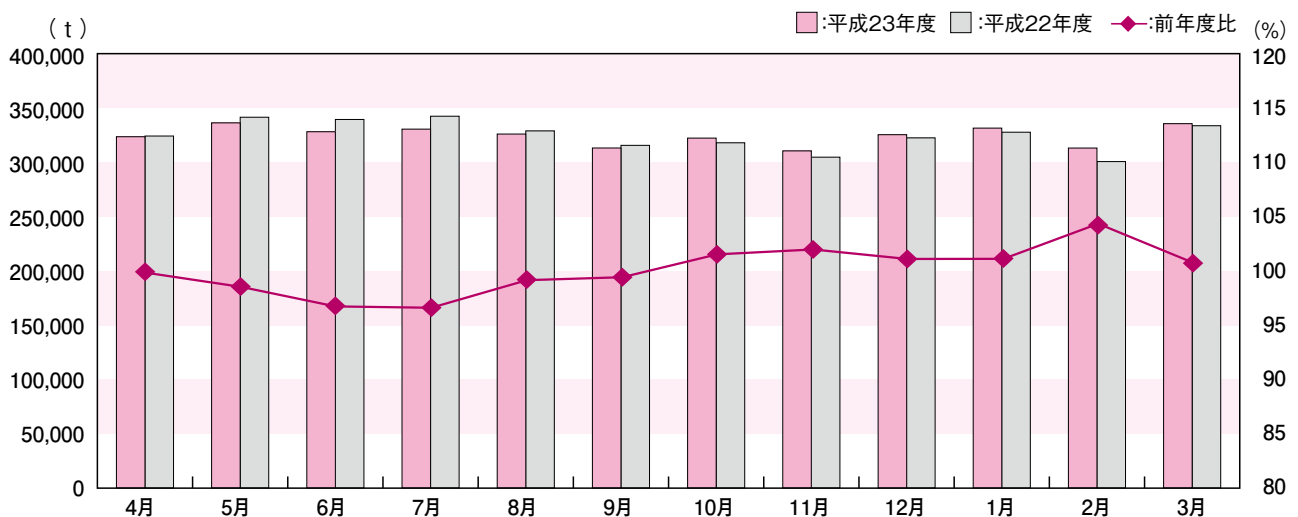
北米コンテナ船 フレート	WTSA加盟の船会社から、4月1日よりGRI値上げ実施が発表され、また、4-6月分のBAFを\$38値上げするとの発表もされている。海上運賃は昨秋から大きな値上げの動きはなかったが、中・長期的には強含みで推移することが予想される。PNWでは現在も船腹スペースと空コンテナが不足している。船積み遅延も引続き目立っており、すぐには解消されないことが懸念されている。
米国の乳価動向	昨年6月から3ヶ月連続の値上げで推移してきた米国の乳価は、9月に入り値下げに転じ、11月で少し回復したものの、12月以降はさらに値下げ傾向となっている。このため、12年産アルファルファの需要が軟化すると産地では予想されている。米国内向け需要が軟化すれば、輸出向けにとっては良い環境となることが予想される。
ビートパルプ	【米国産】11年産ビート大根は、作付けの進捗が遅れ、10年産よりも20日ほど遅れて収穫が開始された。その結果、作付面積は前年比で5%近く増加したものの、生産量は前年比で15%近くも減少すると見込まれている。需要は引き続き堅調なことから、産地価格は開始と同時に10年産よりも高値で推移している。産地では12年産ビート大根の作付けが、4月中旬から本格的に始まる予定。11年産よりもビートパルプの生産量が増えることが期待される。 【中国産】11年産のビートパルプは、10年産よりも作柄が良好と伝えられている。国内向けの需要はさらに増えることが予想されているため、韓国と日本向けはかなり限定的となることが予想されている。
アルファルファヘイ	【ワシントン産】11年産の日本や米国内向けの荷動きが少し鈍化しているとも伝えられているが、UAEや中国向けは堅調な様子。今後は他の作物からアルファルファへの転作が増えて、穀類への転作が少ないことが一部では予想されている一方で、安定した収入が見込める穀類への転作が多いとも一部では予想されているため、12年産の作付面積の増減については様々な予想がされている。 【オレゴン産】産地での11年産の余剰在庫はほとんどない模様で、産地価格は引き続き強含みで推移している。12年産の作付面積については、11年産とほぼ変わらないと予想されている。BIGベールでの収穫が12年産以降も増えることが予想され、今後も日本向けに好まれる3タイのプレミアム品は生産量が減少する傾向にあると予想されている。 【ネバダ産】11年産の余剰在庫はほとんどない模様。産地ではBIGベールでの収穫が12年産以降も増えることが予想され、3タイのプレミアム品は生産量が減少する傾向にあると予想されている。 【カリフォルニア産】インベリアルバレーでは、12年産の1番刈の収穫がほぼ終了し、早い圃場では2番刈の収穫が始まっている。1番刈は良品もあるようだが、輸出には不向きな仕上がりのものも多い模様。産地価格はスタート時よりも軟化傾向となっているが、カリフォルニア中央部で1番刈の降雨被害があり、需要がインベリアルバレーに回帰する動きもあるため、価格軟化は足踏み状態となっている模様。
チモシー	【米国産】日本向けに強い引合いがあるため、11年産はどのグレードもほぼ完売状態（成約済み）となっている模様。12年産の作付面積は大きく変わらないと予想される一方で、「これ以上の高値（＝儲け）は期待できない」とのことから、作付面積は減少するとも予想されている。また、1番刈収穫後に、穀類に転作しようと考えている生産農家も多い模様。 【カナダ産】米国産と同様に、11年産はハイグレード品がほぼ完売状態（成約済み）となっている。これにより、ローグレード品の引合いも強くなってきている模様。安定したの需要から、12年産の作付面積は増えるとも予想される一方で、ドライランド（中央アルバータ）では未成約在庫もあることから、作付面積は減少するとも予想されている。
スーダン	【インベリアルバレー産】11年産は、余剰在庫はほとんどない状況。産地では小麦の作付けが進んでおり、3/15時点で、作付面積は前年対比120%となっている。小麦の作付面積が増えるときは、早播きスーダングラスの供給数量が減少する傾向が例年みられる。また、種子価格が前年の2倍以上にまで高騰しており、燃料と肥料の価格も上昇しているため、生産コストが上昇している。12年産はスタートと同時にハイグレード品に非常に強い引合いが来るが見込まれるため、産地価格がさらに高くなることが懸念されている。
クレイングラス	引合いは依然として強く、11年産は完売状態（成約済み）となっているため、産地価格は強含みで推移している。12年産の作付面積は、3/15時点で、前年対比112%となっている。生育は例年通りの進捗で、一番早い圃場では5月上旬に刈取りが始まると予想されている。強い需要が12年産も続くとも予想されるため、産地価格がさらに高くなることが懸念されている。
バミューダ	バミューダヘイ、バミューダストローは、産地での余剰在庫はほとんどない模様。そのため、産地価格は強含みで推移している。12年産の作付面積は3/15時点で、前年対比93%となっている。強い需要が12年産も続くとも予想されているため、今後も引続きタイトな状況が続くと予想されている。また、産地ではバミューダ種子の価格が年々上昇しているため、種採り用の圃場も増えて12年産はバミューダストローの生産量が増える可能性もあるが、それでも需要が供給を上回る可能性もあると予想される。
ストロー類	11年産フェスキューは良品の余剰在庫がほとんどない状況。フェスキューの状況を受けてライグラスの引合いも増えたため、ライグラスも余剰在庫がほとんどない状況。年々減少しているフェスキュー・ライグラスの作付面積は、12年産も、回復しないとの見方が強くなっている。12年産以降も、ストロー類は生産量がさらに減少し、産地価格も弱含むことなく推移することが懸念されている。
オーツヘイ	【西豪州産】雨当たり被害が大量に発生し、深刻な事態となった。雨当たりを免れたノーレイン品はごくわずかな数量となっている。11年産は雨当たりのローグレード品が大量に発生する結果となったが、韓国向けに少しずつ船積みが増えてきている模様。 【南豪州産】南豪州でも雨当たり被害が多く発生。ハイグレード品については限定的な数量となっている。雨当たりのローグレード品が韓国向けに少しずつ船積みが増えてきている模様。11年産は、日本向けの船積みも西豪州から南豪州に多くシフトすると見込まれているが、アデレード港（南豪州）出しの船積みスペースのタイ感も顕著で、恒常化しているのが現状。 【東豪州産】ヴィクトリア州でも、雨当たり被害が多く発生。ハイグレード品については限定的な数量となっている。この地域は豪州国内で最大の酪農・肥育の生産州で、ローグレード品を中心に国内向けの引合いも強くなっている模様。

平成23年度（3月）地域別生乳生産量

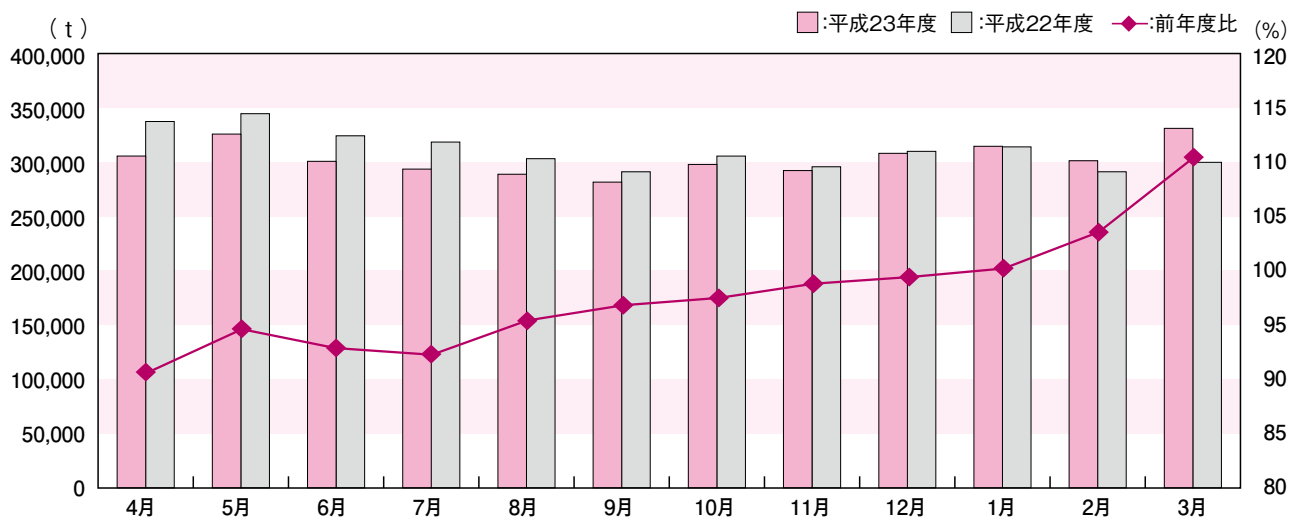
単位：t

	全 国	北海道	東 北	北 陸	関 東	東 山	東 海	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
22 年度 3 月	633,178	333,487	37,250	9,365	85,702	11,482	35,953	18,426	26,825	12,663	59,613	2,412
23 年度 4 月	628,833	323,368	43,133	9,188	88,938	11,210	35,422	18,134	26,388	12,438	58,169	2,445
5 月	661,818	336,125	50,251	9,474	97,497	11,746	36,169	18,439	27,407	12,648	59,547	2,515
6 月	628,574	327,964	47,467	8,678	89,927	11,199	33,209	16,713	25,181	11,497	54,408	2,331
7 月	623,805	330,363	47,146	8,259	87,626	11,259	32,171	16,385	24,631	10,943	52,721	2,301
8 月	614,552	325,838	48,003	8,025	85,889	11,088	31,040	16,162	24,107	10,659	51,538	2,203
9 月	594,466	313,005	47,323	7,707	82,863	10,857	30,317	15,519	23,565	10,534	50,642	2,134
10 月	619,843	322,112	50,137	8,147	88,027	11,085	32,618	16,214	24,827	11,039	53,418	2,219
11 月	602,420	310,328	49,086	7,959	86,312	10,743	32,225	16,013	24,147	10,937	52,508	2,162
12 月	633,207	325,234	51,663	8,513	90,717	11,280	33,692	17,036	25,222	11,636	55,987	2,227
1 月	645,750	331,298	52,019	8,829	92,456	11,185	34,749	17,486	25,865	12,036	57,569	2,258
2 月	614,082	312,946	49,521	8,382	88,672	10,472	33,129	16,653	24,789	11,472	55,775	2,271
3 月	666,347	335,386	54,152	9,249	97,760	11,542	36,017	18,526	27,139	12,421	61,632	2,523
前年同月比	105.2%	100.6%	145.4%	98.8%	114.1%	100.5%	100.2%	100.5%	101.2%	98.1%	103.4%	104.6%
23 年度累計	7,533,697	3,893,967	589,901	102,410	1,076,684	133,666	400,758	203,280	303,268	138,260	663,914	27,589
前年同月比	98.7%	99.9%	95.2%	94.8%	97.2%	98.6%	98.4%	95.9%	98.1%	96.8%	100.1%	99.3%

北海道の月別生乳生産量



都府県の月別生乳生産量

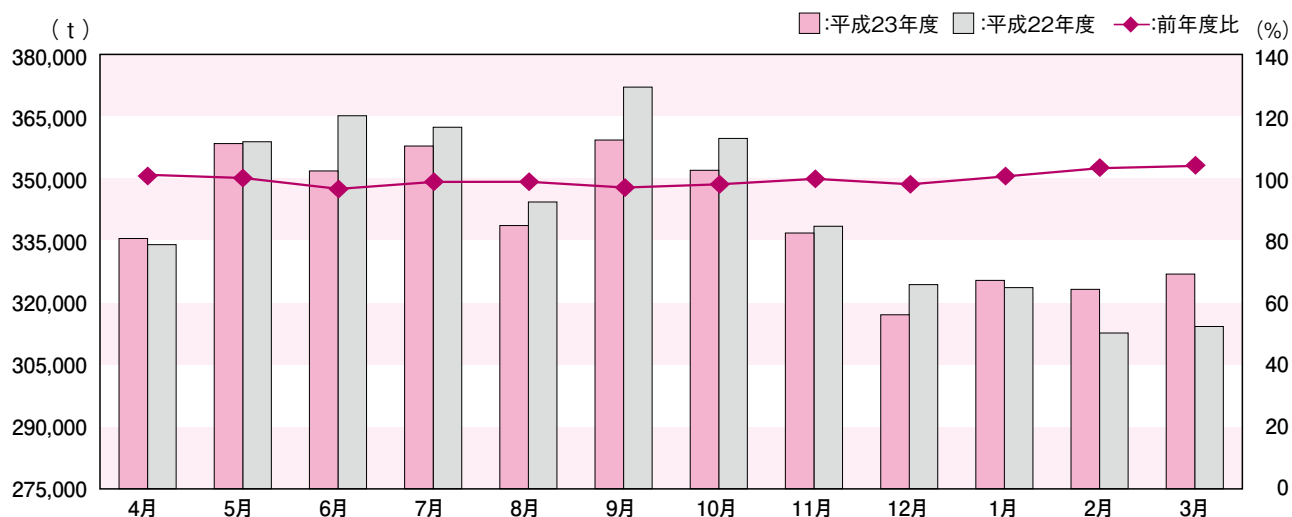


平成23年度（3月）用途別処理量

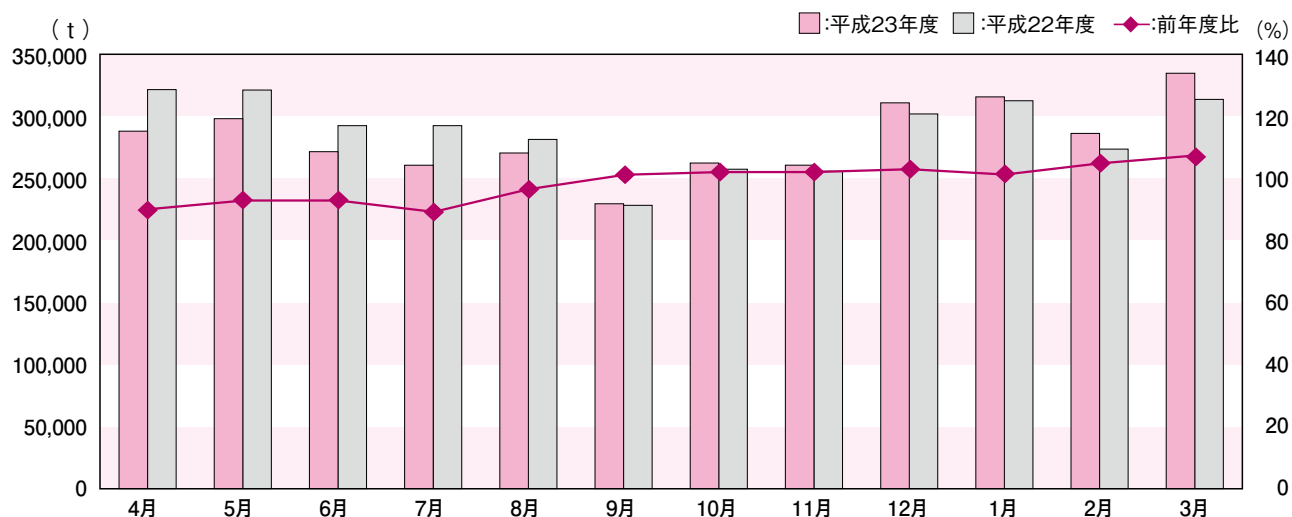
単位：t

	用途別処理量							欠 減
	生乳生産量	牛乳等向け	業務用向け	乳製品向け	チーズ向け	クリーム等向け	その他	
22年度 3月	633,178	314,206	19,911	313,529	44,805	84,570	5,443	1,553
23年度 4月	628,833	335,472	22,962	287,933	41,455	96,214	5,428	1,317
5月	661,818	358,410	26,317	297,991	43,325	98,744	5,417	1,002
6月	628,574	351,800	23,936	271,407	41,464	99,952	5,367	953
7月	623,805	357,820	21,463	260,499	40,080	106,648	5,486	1,054
8月	614,552	338,603	24,216	270,357	40,712	106,994	5,592	1,102
9月	594,466	359,270	27,189	229,452	32,181	104,967	5,744	1,192
10月	619,843	351,958	29,171	262,271	38,368	110,428	5,614	1,076
11月	602,420	336,798	29,374	260,547	38,338	108,557	5,075	886
12月	633,207	317,039	27,191	310,749	39,974	109,880	5,419	957
1月	645,750	325,351	24,812	315,558	46,565	96,795	4,841	1,002
2月	614,082	323,184	25,383	286,133	45,293	99,089	4,765	961
3月	666,347	326,874	28,301	334,591	48,467	109,346	4,882	1,038
前年同月比	105.2%	104.0%	142.1%	106.7%	108.2%	129.3%	89.7%	66.8%
23年度累計	7,533,697	4,082,579	310,315	3,387,488	496,222	1,247,614	63,630	12,540
前年同月比	98.7%	99.3%	103.5%	98.2%	99.7%	107.4%	90.5%	69.6%

牛乳等向け処理量の推移



乳製品向け処理量の推移



※農林水産省統計部が公表した「牛乳乳製品統計」をもとに本会酪農部で集計した。

酪政連活動報告

(平成24年2～4月)

日本酪農政治連盟

2/23	TPPを慎重に考える会第30回勉強会 (副委員長、幹事長ほか) ◆ 韓国調査団の米韓FTA概要に係る報告	3/15	自民党畜酪小委員会 ◆ 平成24年度畜産物価格等について意見交換
2/28	畜産振興議員連盟総会 (副委員長、幹事長ほか) ◆ 24年度酪農政策の団体要請	3/21	三役要請活動 (委員長、副委員長、幹事長ほか) ◆ 岩本司副大臣ほかへ要請 ◆ 同日の自民党農林部会、畜酪小委員会合同会議に出席
2/29	自民党酪政会・北海道酪農協会要請懇談会 ◆ 要請及び意見交換	3/22	三役要請活動 (委員長、副委員長、幹事長ほか) ◆ 森英介(酪政会会長)ほかへ要請 ◆ 自民党総合農政、貿易調査会、TPP即時撤回合同会議に出席
3/2	酪政連通常総会 ◆ 来賓に谷津義男前衆議院議員 ◆ 平成23年度運動報告、決算並びに平成24年度運動方針、予算等を承認 ◆ 終了後、藤田財務副大臣等への要請活動	3/28	東北酪農青年婦人会議佐々木委員長来所 ◆ 放射能汚染物質(堆肥、飼料、ワラ、土壌等)の一日も早い移動と除染作業に関する要請書を受領 ◆ その後、農水省牛乳乳製品課へ要請
3/7	自民党総合農政調査会・TPP参加の即時撤回を求める会合同会議 ◆ TPP事前協議に係る役所説明、意見交換 ◆ TPPに関する党の決議必要との声大きい。	4/5	TPPを慎重に考える会勉強会 ◆ 分野別交渉状況、米国事前協議のヒアリング、意見交換 ◆ 役所から具体的、的確な情報なし
3/7	自民党外交・経済連携調査会 ◆ TPPについての考え方案について意見交換 ◆ 最終的には執行部一任となった。	4/9 ↓ 4/10	九州酪政連要請活動 (委員長、幹事長ほか) ◆ 岩本司副大臣ほかへ要請
3/12	TPPを考える国際シンポジウム ◆ 同シンポ主催の演説会、デモ行進、国際シンポに参加 ◆ 全国より94人参加	4/10	三役会議、常任・中央合同委員会 ◆ 24年度畜産物価格等について農水省牛乳乳製品課より報告 ◆ 今後の酪政連活動について
3/13	TPPを考える専門分野会議 ◆ 昨日からの一連の行事として参加 ◆ パネルディスカッション、意見交換	4/10	TPPに関する団体との意見交換会 ◆ 中畜が窓口で各省審議官クラスからの説明と意見交換
3/13	平成24年度畜産物価格等に係る要請活動 ◆ 森本哲生農水政務官ほかへ要請	4/13	TPPを慎重に考える会勉強会 ◆ 郵政事業に係る報告と情報交換

ちょっと役立つ パソコンの小技巧

セルの中で改行する

(動作確認: Excel2003,2007,2010)

Excelで、図のようにセルの中で改行する方法です。改行したい箇所で「Alt」キーを押しながら「Enter」キーを押します。

今月の
小技巧

Alt

+

Enter

	A	B	C
1	全国酪農業協同組合連合会 東京都港区芝4-17-5 田町プレイス		
2			
3			

人事異動

新	旧	氏 名
■平成24年5月1日付異動発令		
指導・企画部 副部長 兼 企画課長 兼 指導組織課長	指導・企画部 副部長	高 橋 正
購買部 購買推進課長	大阪支所 次長 兼 購買畜産課長	岡 本 尚 之
酪農部 部長	酪農部 部長 兼 乳製品工場課長	池 浦 靖 夫
酪農部 副部長 兼 乳製品工場課長	購買部 副部長 兼 購買推進課長	戸 辺 誠 司
大阪支所 次長 兼 購買畜産課長	指導・企画部 副部長 兼 企画課長 兼 指導組織課長	大 森 一 幸
北福岡工場 工場長 兼 原料課長	北福岡工場 工場長	木 元 守
北福岡工場 製造課 課長	北福岡工場 製造課 課長代理	浪 岡 毅 彦
狭山工場 品質管理課 課長	北福岡工場 製造課長 兼 原料課長	丁 野 茂 樹
■平成24年5月1日付昇格発令		
大阪支所 購買畜産課 課長代理	大阪支所 購買畜産課 副審査役	河 野 巧



全酪連2012年の ニューフェイス集まる!



4月2日(月)、平成24年度新入職員入会式を田町プレイス(東京都港区)で行いました。

今年度は、大学・大学院卒業が15人、高校卒業が2人、入会しました。

新入職員は研修期間終了後、それぞれの配属先で会員の皆さんのお世話になります。どうぞよろしくお願いします。

北海道 乳牛産地情報

平成24年5月1日現在

札幌支所 TEL 011-241-0765
 釧路事務所 TEL 0154-52-1232
 帯広事務所 TEL 0155-37-6051
 道北事務所 TEL 01654-2-2368

価格状況 ▲……強含み ▼……やや強含み →……横這い ⇩……やや弱含み ↓……弱含み

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	30~35	→	4月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で100.0%。苫小牧管内月計で102.3%の実績となっております。初妊牛の価格動向ですが、夏分挽に入る事から道内需要は見込めますが、府県需要は分娩時期、腹条件による価格差が大きくなると思われます。全体の相場としてはやや弱含みの取引となるものと思われます。育成牛、経産牛につきましては、良質な物を中心として相場としては横這いでの取引となるものと思われます。
	初妊牛	52~56	⇩	
	経産牛	40~45	→	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	30~35	→	4月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で99.7%。中標津管内月計で101.1%の実績となっております。初妊牛の動向ですが、6月分娩中心の駆け込み導入が一段落し、今後は7月分娩から8月上旬中心の荷動きとなり、価格も4月に比べて弱含み傾向となると思われます。F1腹も選別腹も価格差なく取引され、ホルス腹がやや弱含みかと思われます。
	初妊牛	50~55	↓	
	経産牛	45~50	→	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	30~35	→	4月中旬までの生乳生産量前年比は、月計で100.7%の実績となっております。初妊牛価格の動向ですが、6月分娩の腹の引き合いが強かったため、7月上旬腹まで資源が少なくなっています。このため、7月上旬腹までは価格は堅調に推移するかと思われます。また、7月中旬腹以降の牛につきましては、比較的資源が豊富にあると予想されますが、道内需要もあるため、横這いから若干の弱含みで推移するものと思われます。
	初妊牛	51~56	↓	
	経産牛	45~50	→	
道北管内	育成牛(10-12月令)	25~30	→	4月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計100.0%、北見管内月計で100.2%の実績となっております。初妊牛の動向ですが、7月から8月分娩が中心となります。夏分挽ということから、府県からの購買については落ち着いてきますが、道内からの需要は相変わらず強いものがあると予想されるため、相場はやや弱含みで推移するものと思われます。経産牛につきましては、道内需要が強いため、相場は横這いで動くものと思われます。
	初妊牛	50~55	↓	
	経産牛	40~47	→	
道内総括	育成牛(10-12月令)	30~35	→	4月中旬までの生乳生産量は前年比100.4%の実績となっております。初妊牛動向は7月から8月上旬分娩までとなります。昨年、一昨年の夏の猛暑のことがあるので、府県の夏分挽の導入は少ないと思われますが、道内需要は引き続き強いため、価格は若干の弱含みで推移すると思われます。また、育成牛については春生みになるような月齢の価格は堅調に推移し、経産牛も乳質の良いものは引き合いが強いため、価格につきましても横這いで推移すると思われます。
	初妊牛	50~56	↓	
	経産牛	45~50	→	

※上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。庭先選畜購買のため、市場購買とは異なり、価格差が生じます。

今月の表紙

茶髪・すてきでしょ！

今月の表紙は、「酪農いきいきフォトコンテスト」(全国酪友フォーラムにて開催)に応募いただいた作品「茶髪・すてきでしょ！」(山形県 安藤信彰氏 撮影)です。牛舎の中で、ひと際目を引く茶髪のホルスタイン牛、すてきです！



▼トピックスでもご報告しておりますが、酪農青年女性会議地域大会が3月から各地で開催され、ぞくぞくと全国大会への出場者が決定しています。

▼6月の父の日に向けて、早い地域では、酪農青年女性会議の消費拡大運動「父の日に牛乳(ちち)を贈ろう！」キャンペーンが5月より始まります。厳しい情勢に負けないよう、皆さんで盛り上げていきましょう！

編集後記

平成24年5月10日発行(毎月1回10日発行)

ZENRAKUREN
MEMBER'S INFORMATION

全酪連会報 5月号 No.560

●編集・発行人 近藤 祥史

●発行 全国酪農業協同組合連合会

〒108-0014 東京都港区芝四丁目17番5号

TEL 03-5931-8003

http://www.zenrakuren.or.jp/



今月の



入賞作品紹介

がんばろみやぎ

大野田小学校(東北)2年 菊池 光姫



今月の入選作品は、大野田小学校(東北)2年の菊池光姫ちゃんの「がんばろみやぎ」です。

自然の生態系や奥深さを感じさせつつも、牛さんが船に乗っていたりジョッキで乾杯したりとユーモアがありますね。「がんばろみやぎ」のメッセージが広く皆に届くことと思います。

※この作品は本会と全国酪農青年女性会議共催の「第38回らくのうこどもギャラリー」で全国279点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。

主催 全国酪農青年女性会議

第41回

全国酪農青年女性 酪農発表大会

in 神戸

平成24年

7月

12・13

木

金

日程

7月12日(木)

- 13:00~13:55 開会式
- 14:05~16:20 酪農経営発表
- 16:20~16:30 らくのうこどもギャラリー表彰式
- 16:45~18:20 酪農意見・体験発表
- 19:00~21:00 懇親会

7月13日(金)

- 9:00~ 9:35 酪農経営発表質疑応答
- 9:35~10:00 酪農意見・体験発表質疑応答
- 10:15~11:40 審査講評・表彰式
- 11:40~11:50 閉会式

参加費

1名 11,000円(大会・懇親会まで)

※宿泊につきましては、各地域会議事務局にお問い合わせください。

会場

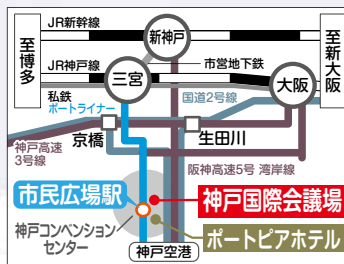


神戸国際会議場

〒650-0046
神戸市中央区港島中町6-9-1
TEL. 078-302-5200

〈懇親会〉神戸ポートピアホテル

〒650-0046
神戸市中央区港島中町6-10-1
TEL. 078-302-1111



〈アクセス〉

- 高速道路 阪神高速3号神戸線 京橋出口 5分
- 阪神高速3号神戸線 生田川出口 5分
- ポートアイランド線「市民広場」駅徒歩すぐ